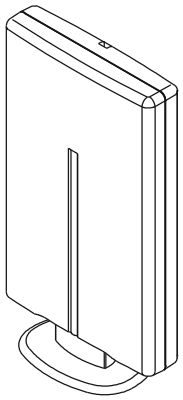
日本アンテナ　**取扱説明書**

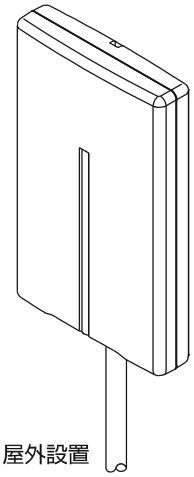
薄型UHFアンテナ（屋内/屋外用）

Model **UDF85B**
Model **UDF85**

このたびは、日本アンテナ製品をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。また、正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「安全上の注意」をお読みください。

DHマーク（デジタルハイビジョン受信マーク）は、一般社団法人 電子情報技術産業協会で審査・登録された一定以上の性能を有するUHFアンテナ、UHF帯域（ch13～ch52）に対応したブースターに付与されるシンボルマークです。


屋内（室内）設置


屋外設置

アンテナの特長

- ●方向調整機能付金具でいろんな場所に設置できます。
- ●ブースターを内蔵しているので、アンテナからケーブルを長く配線する時などに有効。〔UDF85Bのみ〕
- ●前後比の特性に優れているので、壁面反射波などによる受信不良の問題が生じにくくなっています。

標準性能表

●アンテナ

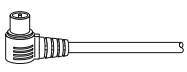
項　目	性　能	
	UDF85B	UDF85
受信チャンネル〔ch〕	13～52	
受信周波数〔MHz〕	470～710	
アンテナ利得〔dB〕	6.5～8.5	
総合利得 ※〔dB〕	23～28	－
出力レベル〔dBμV〕	90	－
インピーダンス〔Ω〕	75（F型）	
電圧定在波比〔以下〕	3	2.5
電力半値幅〔°〕	80以下	
前後比〔dB〕	20以上	
電源〔V/A〕	DC15/0.03	－
受風面積〔m²〕	0.116	
質量〔kg〕	1.8（アンテナ本体のみ）	1.7（アンテナ本体のみ）
外形寸法〔長さ×幅×奥行mm〕	435×265×67（アンテナ本体のみ）	

※アンテナ利得+ブースター利得

●UDF85B用電源部（電源挿入器・ACアダプター）

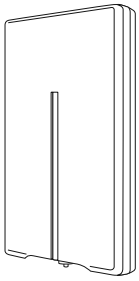
項　目		性　能
電源挿入器	周波数〔MHz〕	470～710
	挿入損失〔dB〕	1.0以下
	インピーダンス〔Ω〕	75（F型）
ACアダプター 入力〔V〕		AC100（50/60Hz）
ACアダプター 出力〔V/A〕		DC15/0.35
質量〔kg〕		0.05（電源挿入器） 0.07（ACアダプター）

●スタンドを使用して屋内設置する場合は、L型の同軸プラグケーブルをご用意ください。
（9、11ページ参照）

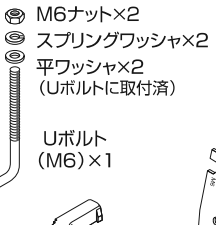


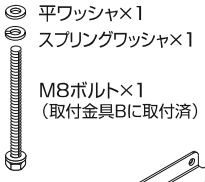
同梱品

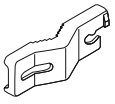
下記の部品が同梱されています。開封時に欠落部品がないかをご確認ください。

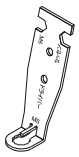

アンテナ本体×1

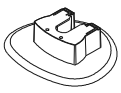
M5ねじ×4
（アンテナ本体に取付済）

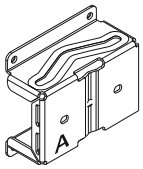

M6ナット×2
スプリングワッシャ×2
平ワッシャ×2
（Uボルトに取付済）
Uボルト
（M6）×1

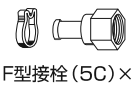

平ワッシャ×1
スプリングワッシャ×1
M8ボルト×1
（取付金具Bに取付済）

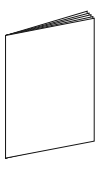

取付金具C×1


スバナ×1

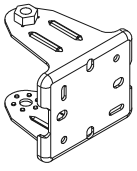

スタンド×1


取付金具A×1

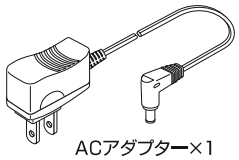

F型接栓（5C）×1

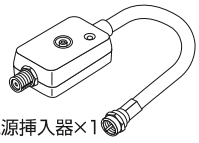

取扱説明書×1

防水キャップ×1


取付金具B×1

※UDF85Bに同梱


ACアダプター×1


電源挿入器×1

お客様へ　アンテナの取付けや設置工事は、強度上の安全性確保のため、必ず専門の技術者または、専門業者にご依頼ください。

安全上の注意

絵表示について この「安全上の注意」、「取扱説明書」および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになるかたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	絵表示の例	△記号は注意（注意・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は警告または注意）が描かれています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。		⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
			●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください。）が描かれています。

⚠ 警告

禁止 **アンテナにぶら下がらない。乗らない。**
●落下してけがや機器故障の原因になります。

禁止 **送電線・配電線の近くに設置しない。**
●接触すると感電・火災の原因になります。

ACアダプターを抜く **故障したり、煙やにおい、音などの異常を感じたらコンセントを抜く。**
●使用続けると感電・火災の原因になります。

接触禁止 **雷が鳴りだしたら触らない。**
●アンテナやケーブルに触れると感電の原因になります。

分解禁止 **分解、改造しない。**
●けがや感電・火災、機器故障の原因になります。

禁止 **危険な場所に設置しない。**
●けがや機器故障の原因になります。
＊転落の危険性がある場所
＊強度不足な場所
＊人の通行の妨げとなる場所

禁止 **右記の条件で作業しない。**
●けがや落下事故、機器故障の原因になります。
＊天候の悪い日
＊足場の不安定な場所
＊屋根の上や高層マンションなどの高所

指示 **作業時は落下対策をおこなう。**
●機器や工具はひもで結ぶ、ネットを張る、などして落下防止を行わないと、けがや落下事故、機器故障の原因になります。

指示 **梱包袋・シートは子供の手の届かないところに置く。**
●頭からかぶると窒息し死亡の原因になります。

濡手禁止 **ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。**
●感電の原因になります。

ACアダプターを抜く **落としたり、破損したときはACアダプターを抜く。**
●そのまま使用すると火災・感電の原因となります。販売店・工事業者にご連絡ください。

指示 **ACアダプターは確実に差し込む。**
●ACアダプターはACコンセントに根本まで確実に差し込んでください。すき間があるとゴミがたまり、火災の原因となります。

指示 **ACアダプターの刃や刃の付近にホコリや金属物が付着しているときは、プラグを抜いて乾いた布で取り除く。**
●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

禁止 水ぬれ禁止 風呂・シャワー室での使用禁止 **電源挿入器、ACアダプターは以下の場所に置かない。設置しない。**
●火災・感電、けがの原因になるだけでなくケースや部品の劣化、故障の原因となります。
＊不安定な場所
＊温度が高くなる場所（サンルーム、調理台・加湿器付近など）
＊風呂、シャワー、洗い場、水がかかる場所
＊湿気やほこりの多い場所

⚠ 注意

禁止 **塗料やワックスを塗らない。シールを貼らない。**
●機器故障の原因になることがあります。

接触禁止 **同軸ケーブルの芯線に触らない。**
●指を刺してけがをしたり、ショートさせて機器故障の原因になることがあります。

禁止 **アンテナに洗濯物を干げない。ポールなどをぶつけない。**
●目的外使用は、けがや機器故障の原因になることがあります。

禁止 **高温多湿環境で使わない。**
●湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気の当たる場所、温度の高い場所、温泉地などで使用すると機器故障の原因となることがあります。

禁止 **電源プラグ・ACアダプターはコードを持って引き抜かない。**
●コードを引っ張ると傷つき、感電・火災の原因になることがあります。

指示 **ボルト・ナット、ねじは指定トルクで締める。**
●ゆるみがあると落下してけがや機器故障の原因になることがあります。

指示 **台風や積雪の後は、点検をおこなう。**
●ゆるみや異常がないか点検をおこなわないと、破損や落下してけがの原因になることがあります。
●点検は、専門の技術者または専門業者にご相談ください。

禁止 **お手入れの際にはベンジン、アルコール、シンナーなどは使わない。**
●塗装（印刷）がはげたり変質することがあります。
●汚れを落とす場合には、水またはうすめた中性洗剤を含むやわらかい布で軽く拭いてください。

使用上の注意

●雷雨や豪雨のような強い雨が降ったり、雪がアンテナに付着すると電波が弱くなり受信ができなくなることがあります。
●長時間直射日光を受けたアンテナは熱くなっていることがあります。アンテナの設置、調整、掃除などをするときは素手で触らないでください。
●アンテナにはホース、高圧洗浄機などによる放水をしないでください。アンテナが破損したり凍結したり、故障の原因になります。
●同軸ケーブルを急激に曲げたり、引っ張ったりしないでください。故障の原因になります。
●接栓は使用する同軸ケーブルに適したC15形の防水接栓やS-7C-FB以上の同軸ケーブルはビン付き接栓をご使用ください。それ以外の接栓を使用すると故障の原因になります。

設置上の注意

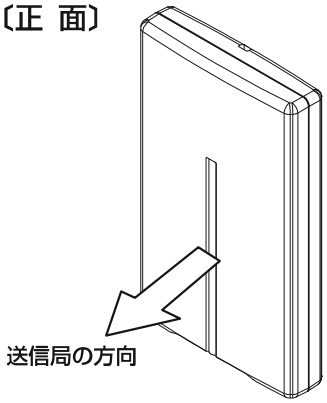
●送信所方向の建物や樹木などの陰を避け、見通しの良い場所を選んでください。
●アンテナは良好な画像が得られる場所、方向、高さを選んでください。
●他のアンテナとの距離は出来るだけ離してください。
●ケーブルは風や雨、雪などで動いたりはずれないように固定してください。

メンテナンス

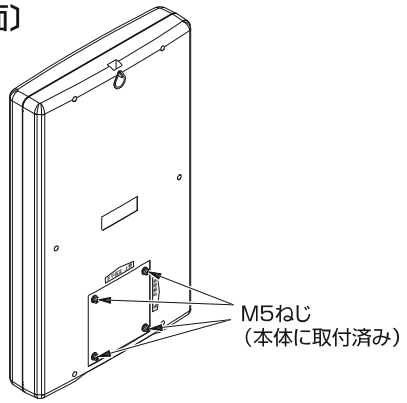
●いつまでも美しい映像をお楽しみいただくために、1年に1回は専門業者に受信状態、ねじ、ボルト、ナットのゆるみ、ケーブルの接続などの保守・点検をご依頼ください。
●設置後、ボルトのゆるみなどがありますので、定期的な増し締めや取付状態の点検をおこなってください。

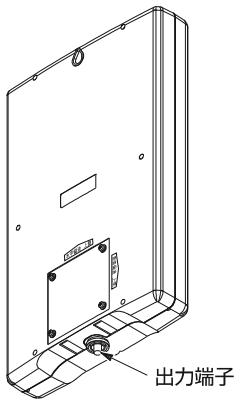
各部の名称

〔正 面〕



〔裏 面〕

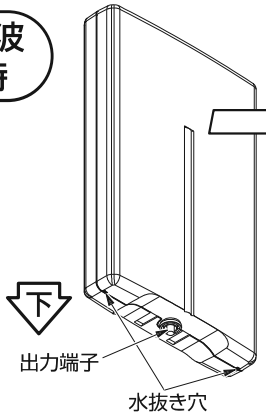




受信偏波とアンテナの向き

設置場所にかかわらずアンテナの向きは次のように合わせてください。

水平偏波受信時

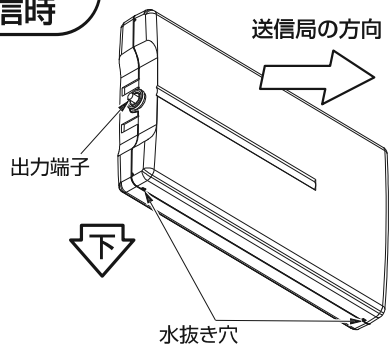


ポイント

上下反対に設置するとアンテナ本体に雨水が浸入しやすくなり、故障の原因になることがあります。

通常、アンテナ本体の内部に浸入した雨水は、真下から抜け出る構造になっています。

垂直偏波受信時

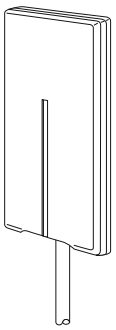


事前確認

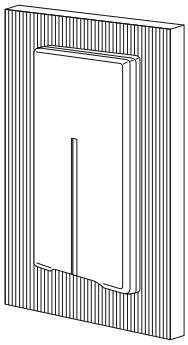
●受信電波の到来方向（送信所の位置）と受信電波の偏波面（水平偏波か垂直偏波か）を確認します。電波の到来方向・偏波面に合わせてアンテナを取り付けます。しっかり合わせないと、安定した画像を得られません。

●電源供給方法を確認します。〔UDF85Bのみ〕

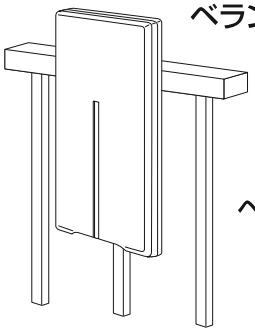
屋外



マスト・角柱・鋼管柱への設置 ⇩ 4〜6 ページへ

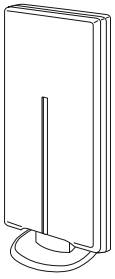


壁面への設置 ⇩ 7 ページへ

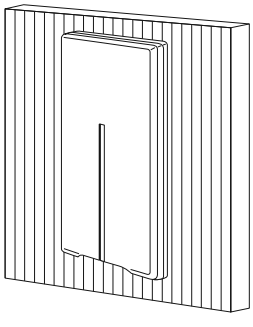


ベランダへの設置 ⇩ 8 ページへ

屋内（室内）



スタンドへの設置 ⇩ 9 ページへ



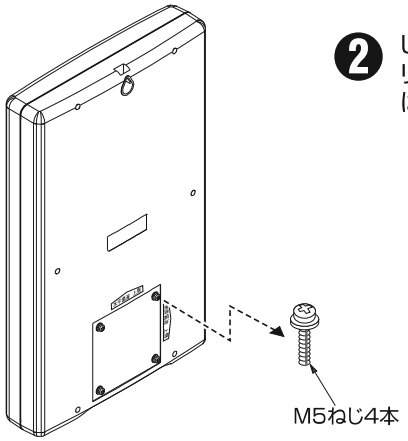
壁面への設置 ⇩ 9 ページへ

アンテナの設置

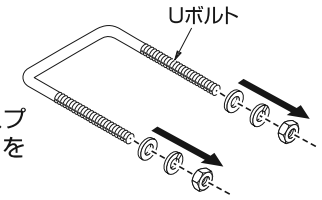
屋外 マストへの設置 [取付金具A、C・M5ねじ・Uボルト・平ワッシャ・スプリングワッシャ・M6ナット使用]

水平偏波受信時

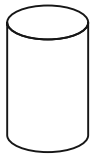
❶ 本体背面のM5ねじ4本をはずします。



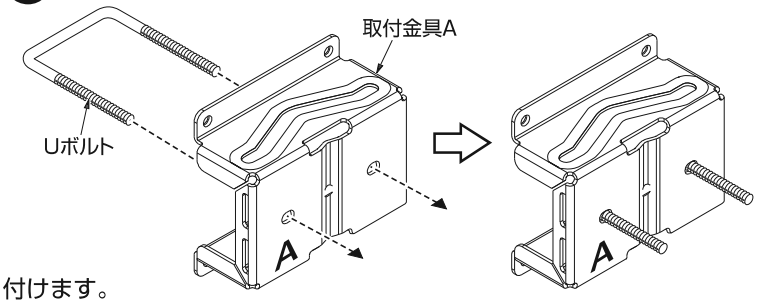
❷ Uボルトから平ワッシャ、スプリングワッシャ、M6ナットをはずします。



●適合マスト
直径 22～49mm



❸ 取付金具Aの⬭穴に背面からUボルトを通します。

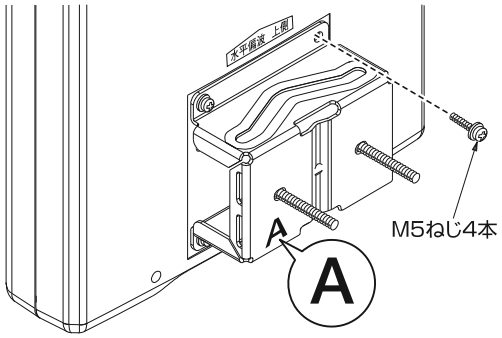


❹ 取付金具AをM5ねじ4本で指定のトルクで取り付けます。

●ねじの締付トルク

M5	2.45N・m（25kgf・cm）

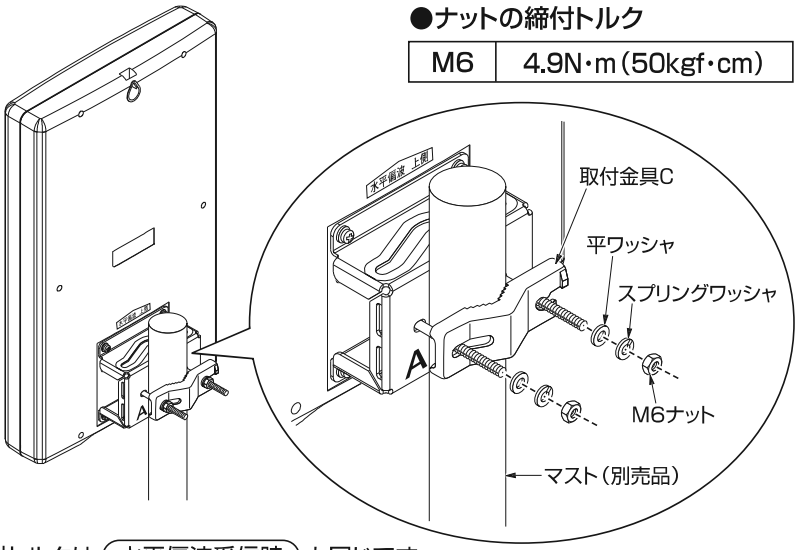
※取付方向にご注意ください。



❺ 取付金具Aをマストに当て、取付金具Cの穴（⬭穴、⬭穴）にUボルトを通し、平ワッシャ、スプリングワッシャ、M6ナットの順に取り付け、指定のトルクで締め付けます。

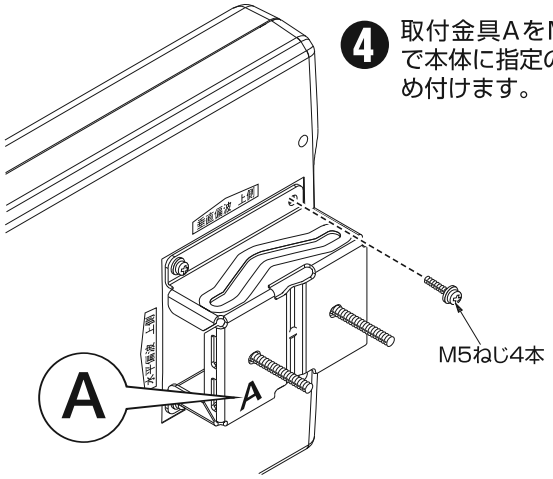
●ナットの締付トルク

M6	4.9N・m（50kgf・cm）



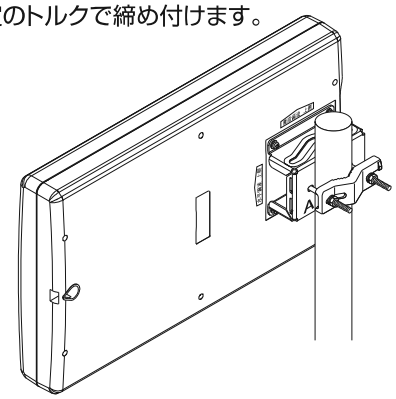
垂直偏波受信時

❶❷❸ の作業、取付手順、ねじ・ナットの締付トルクは（水平偏波受信時）と同じです。



❹ 取付金具AをM5ねじ4本で本体に指定のトルクで締め付けます。

❺ 取付金具Cを取り付けます。
M6ナット類は（水平偏波受信時）❺と同様に指定のトルクで締め付けます。



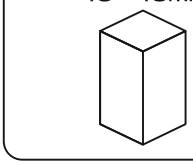
屋外

角柱への設置（方向調整が必要な時）

[取付金具A、B、C・M5ねじ・M8ボルト・Uボルト・平ワッシャ・スプリングワッシャ・M6ナット使用]

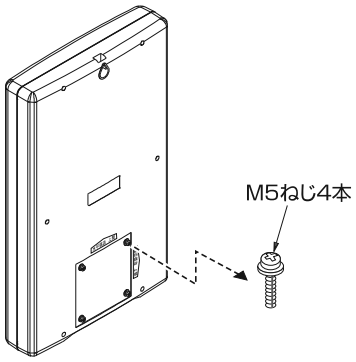
水平偏波受信時

●適合角柱
25×25mm
〜
45×45mm

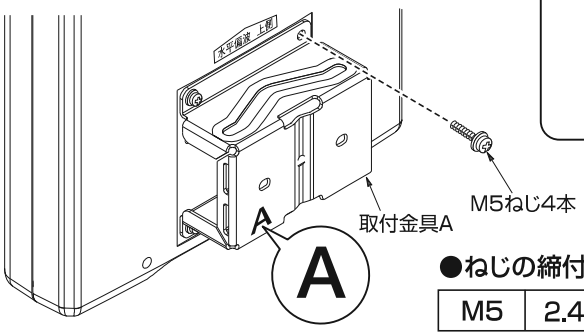


取付方向にご注意ください。

❶ 本体背面のM5ねじ4本をはずします。



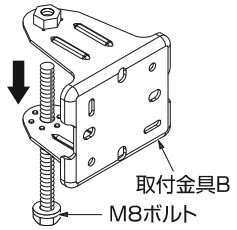
❷ 取付金具AをM5ねじ4本で本体に取付けます。



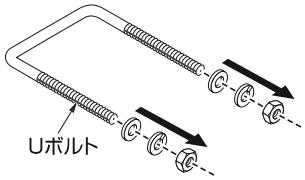
●ねじの締付トルク

M5	2.45N・m（25kgf・cm）

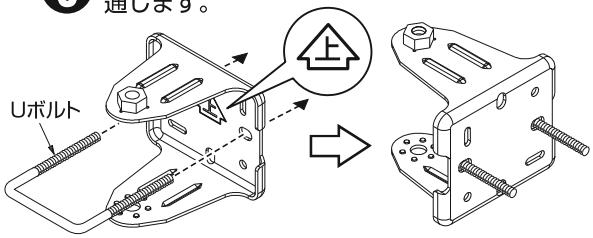
❸ M8ボルトを取付金具Bから抜きとります。



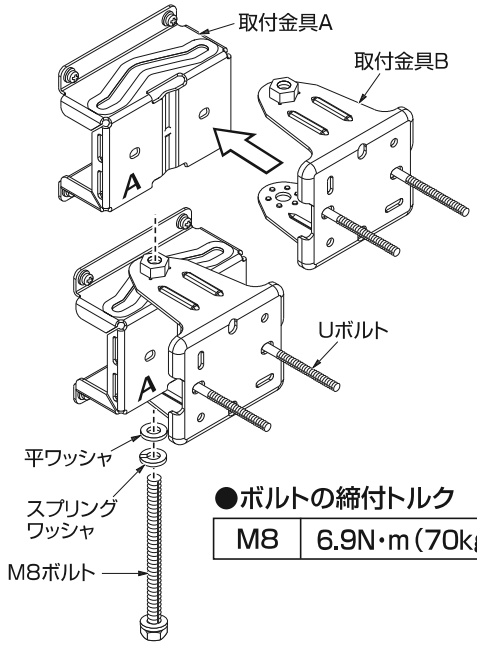
❹ Uボルトから平ワッシャ、スプリングワッシャ、M6ナットをはずします。



❺ 取付金具Bの⬭穴に背面からUボルトを通します。



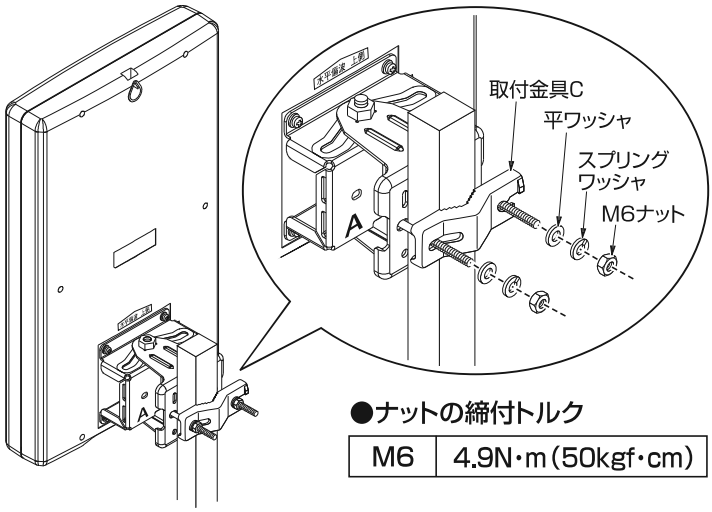
❻ 取付金具Aに取付金具Bをはめて、M8ボルトを取付金具A、Bに通し、指定のトルクで締め付けます。



●ボルトの締付トルク

M8	6.9N・m（70kgf・cm）

❼ 取付金具Bを角柱に当て、取付金具Cの穴（⬭穴、⬬穴）にUボルトを通し、平ワッシャ、スプリングワッシャ、M6ナットの順に取り付け、指定のトルクで締め付けます。



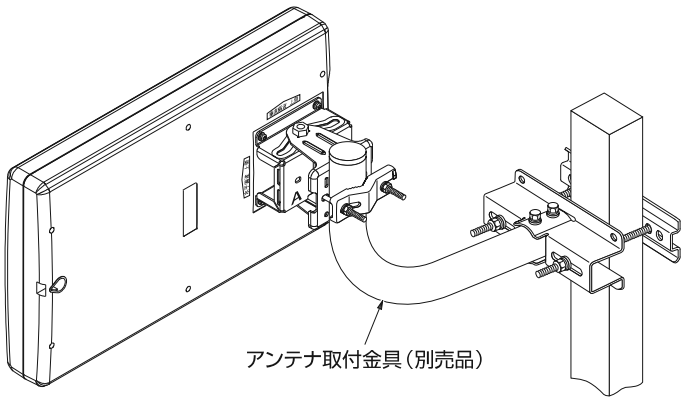
●ナットの締付トルク

M6	4.9N・m（50kgf・cm）

垂直偏波受信時

アンテナ取付金具（別売品）を使用して、4ページの **マストへの設置** を参照して取り付けてください。

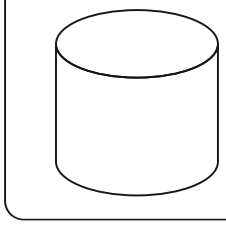
付属の取付金具Bは使用しません。



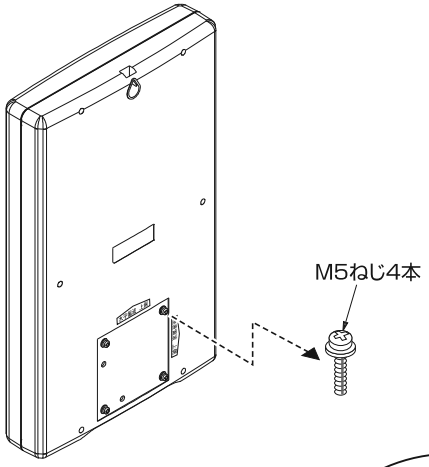
屋外 鋼管柱への設置 [取付金具A・M5ねじ・ステンレスバンド（市販品〔最大20㎜〕）使用]

水平偏波受信時

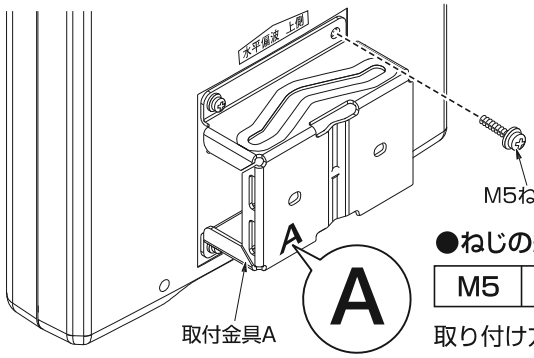
●適合マスト
直径49mm以上



❶ 本体背面のM5ねじ4本をはずします。



❷ 取付金具AをM5ねじ4本で本体に取り付けます。

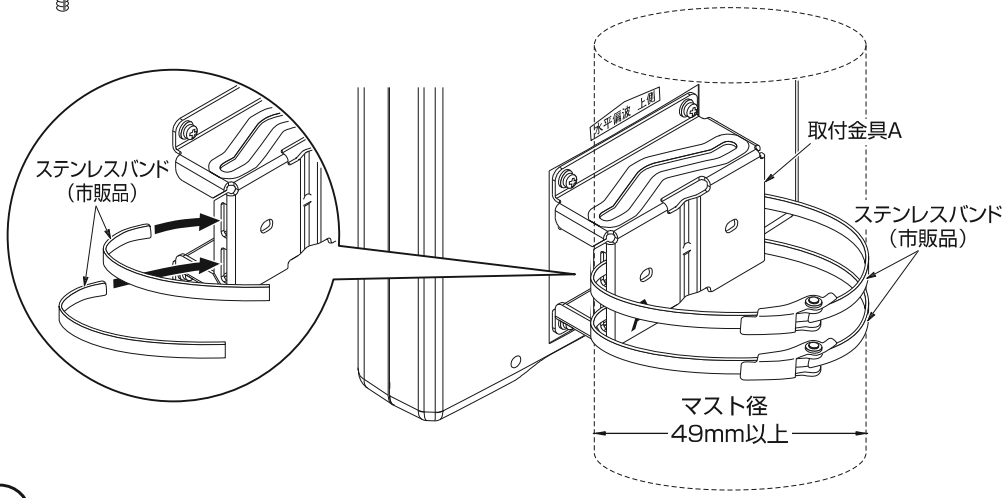


●ねじの締付トルク

M5	2.45N・m（25kgf・cm）

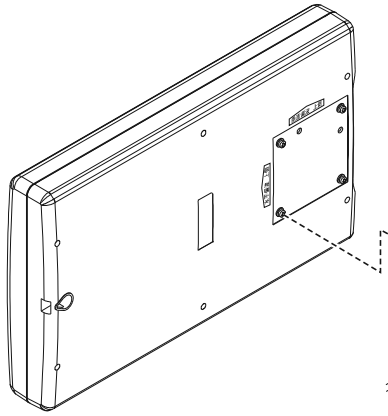
取り付け方向にご注意ください。

❸ ステンレスバンドを取付金具Aの ▭ 穴に通して固定してください。



垂直偏波受信時

❶ 本体背面のM5ねじ4本をはずします。



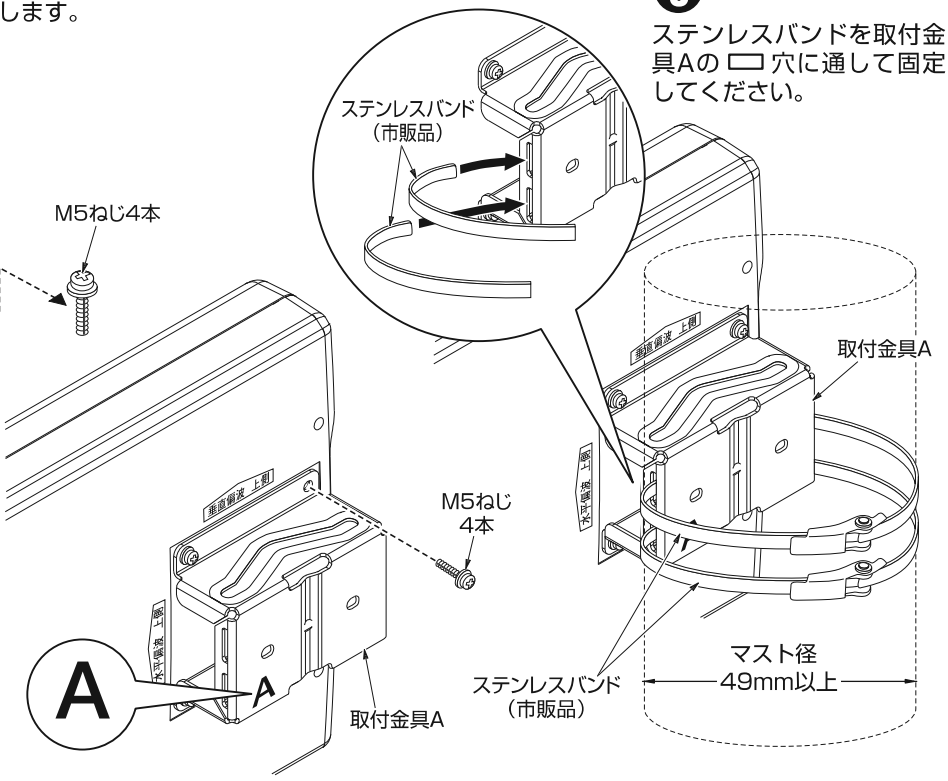
❷ 取付金具AをM5ねじ4本で本体に取付けます。

●ねじの締付トルク

M5	2.45N・m（25kgf・cm）

取り付け方向にご注意ください。

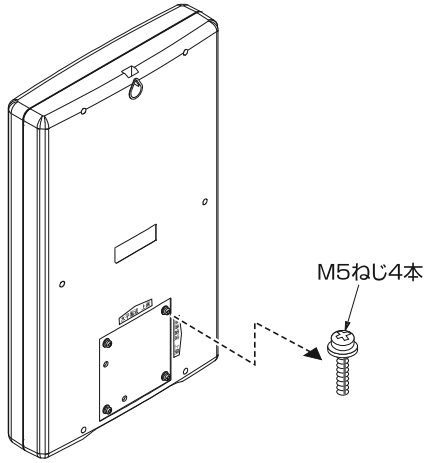
❸ ステンレスバンドを取付金具Aの ▭ 穴に通して固定してください。



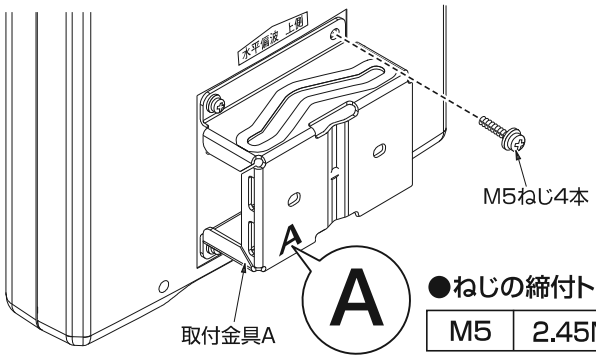
屋外 壁面への設置 [取付金具A、B・M5ねじ・M8ボルト・木ねじ（市販品）使用]

水平偏波受信時 垂直偏波受信はできません。

❶ 本体背面のM5ねじ4本をはずします。



❷ 取付金具AをM5ねじ4本で本体に指定のトルクで取り付けます。

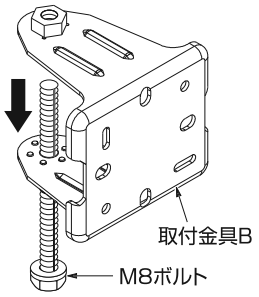


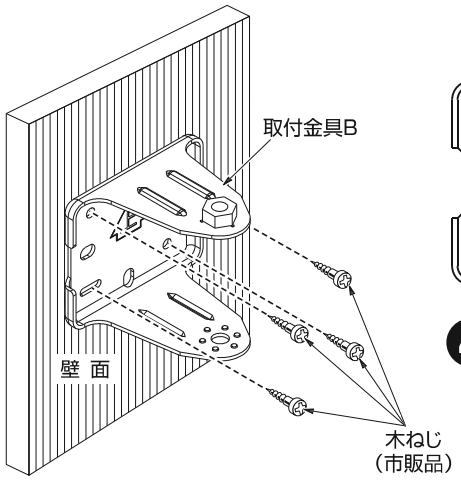
●ねじの締付トルク

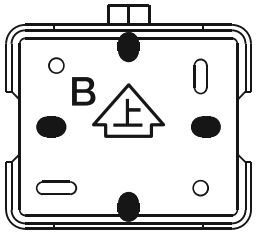
M5	2.45N・m（25kgf・cm）

取り付け方向にご注意ください。

❸ M8ボルトを取付金具Bから抜きとります。







穴は使用しません

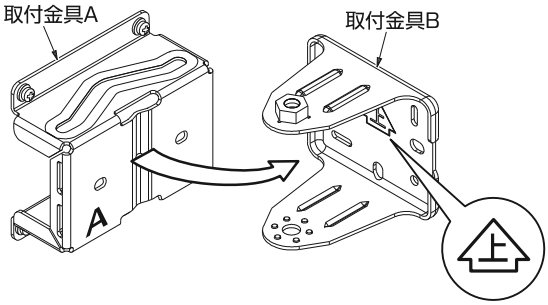
❹ ①取付金具Bの穴（○穴、Ⓞ穴）各1ヶ所に木ねじ（市販品）で壁面に仮固定します。
②取付金具Bが水平になるように調整します。

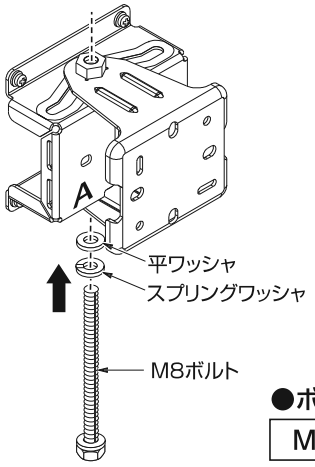
ポイント

取付金具Bを傾けて固定すると、アンテナがキレイに取り付けできません。

③残り2ヶ所の穴（○穴、⬭穴）に木ねじ（市販品）をねじ込み、4ヶ所をしっかりと締め付け、取付金具Bを壁面に固定します。

❺ 取付金具Aを取付金具Bにはめて、M8ボルトを取付金具A、Bに通して、指定のトルクで締め付けます。





●ボルトの締付トルク

M8	6.9N・m（70kgf・cm）

ポイント

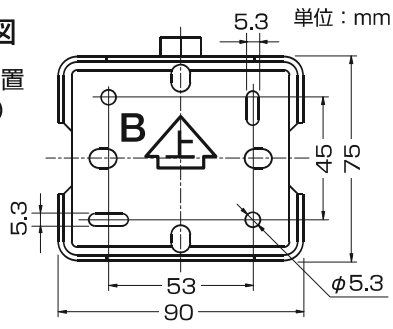
壁面強度の十分あるところに取り付けてください。
壁面に取り付ける場合、専門業者にご相談ください。
シーリング材（コーキング材）で次の部分をじゅうぶんに防水処理してください。

- ●壁面に取り付けたねじ
- ●壁面と取付金具との隙間

木ねじは取付金具Bの穴に合う、壁面の材質に適したねじ類をご使用ください。詳しくは専門業者などにご相談ください。

●取付金具Bの寸法図

（壁面取付の木ねじ用穴位置の参考にしてください。）



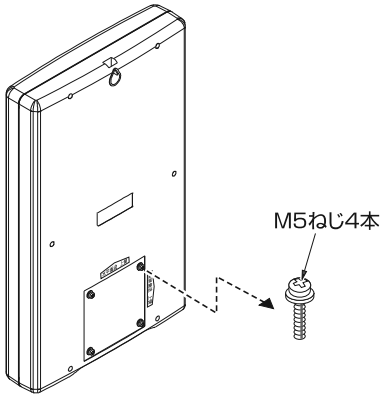
屋外　ベランダへの設置（格子への取付）

[取付金具A、B、C・M5ねじ・M8ボルト・Uボルト・平ワッシャ・スプリングワッシャ・M6ナット使用]

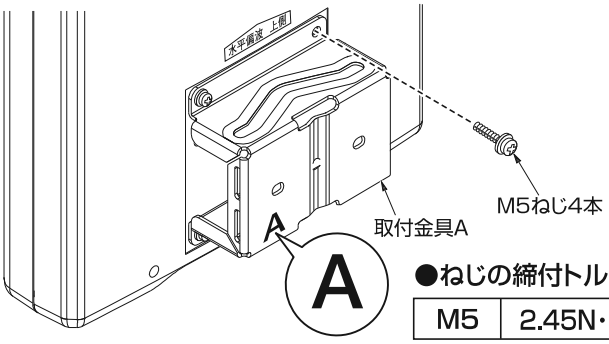
水平偏波受信時

ポイント 格子強度が十分でない場合は取り付けできません。

❶ 本体背面のM5ねじ4本をはずします。



❷ 取付金具AをM5ねじ4本で本体に指定のトルクで取り付けます。

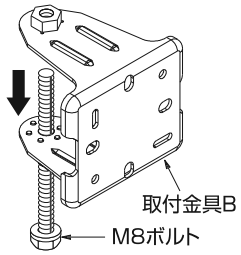


●ねじの締付トルク

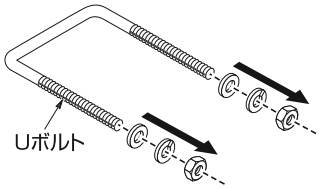
M5	2.45N・m（25kgf・cm）

取り付け方向にご注意ください。

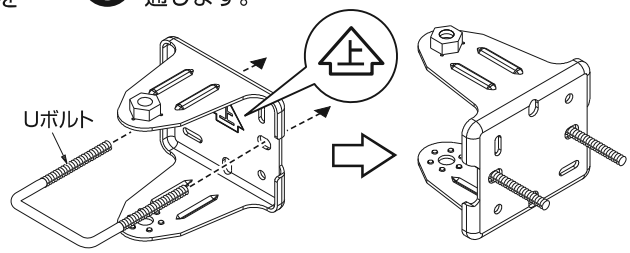
❸ M8ボルトを取付金具Bから抜きとります。



❹ Uボルトから平ワッシャ、スプリングワッシャ、M6ナットをはずします。



❺ 取付金具Bの⬭穴に背面からUボルトを通します。

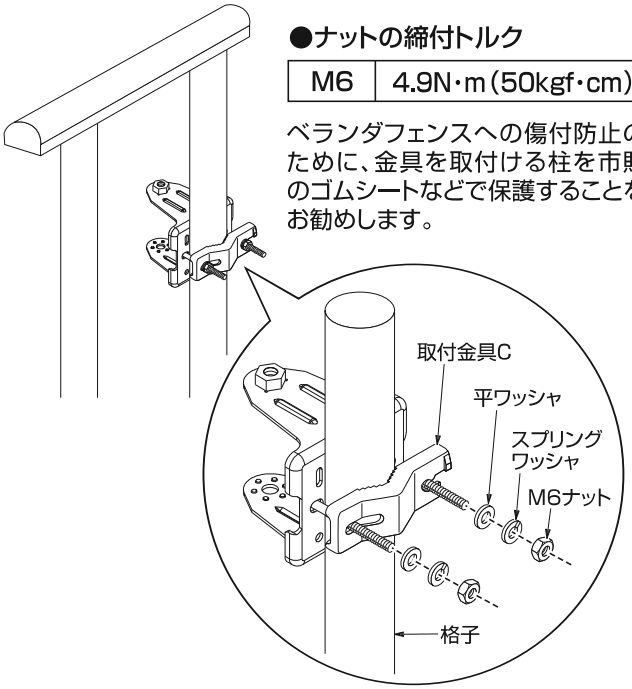


❻ 取付金具Bを格子に当て、取付金具Cの穴（○穴、⬭穴）にUボルトを通し、平ワッシャ、スプリングワッシャ、M6ナットの順に取り付け、指定のトルクで締め付けます。

●ナットの締付トルク

M6	4.9N・m（50kgf・cm）

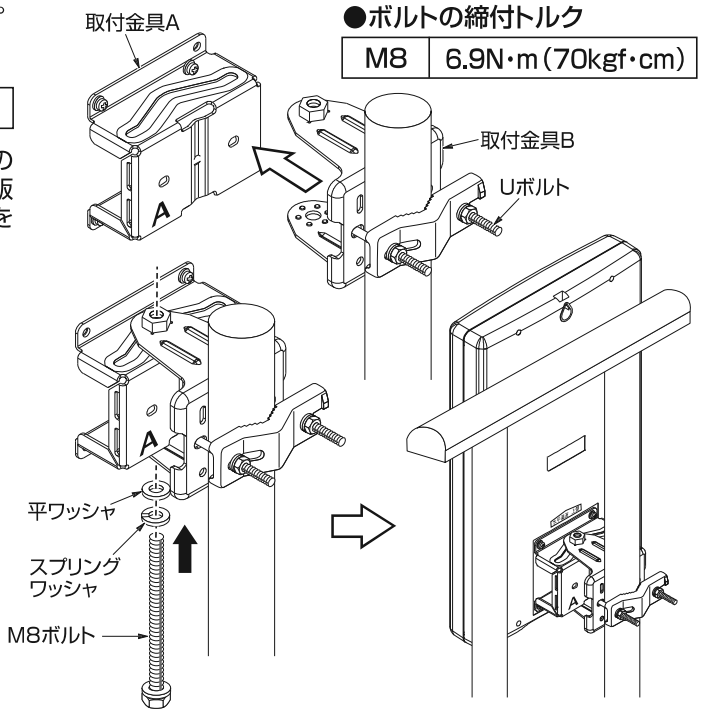
ベランダフェンスへの傷付防止のために、金具を取付ける柱を市販のゴムシートなどで保護することをお勧めします。



❼ 取付金具Aに取付金具Bをはめて、M8ボルトを取付金具A、Bに通し、指定のトルクで締め付けます。

●ボルトの締付トルク

M8	6.9N・m（70kgf・cm）



笠木（横柱）、支柱などへの取り付けはアンテナ取付金具（別売品）をご使用ください。

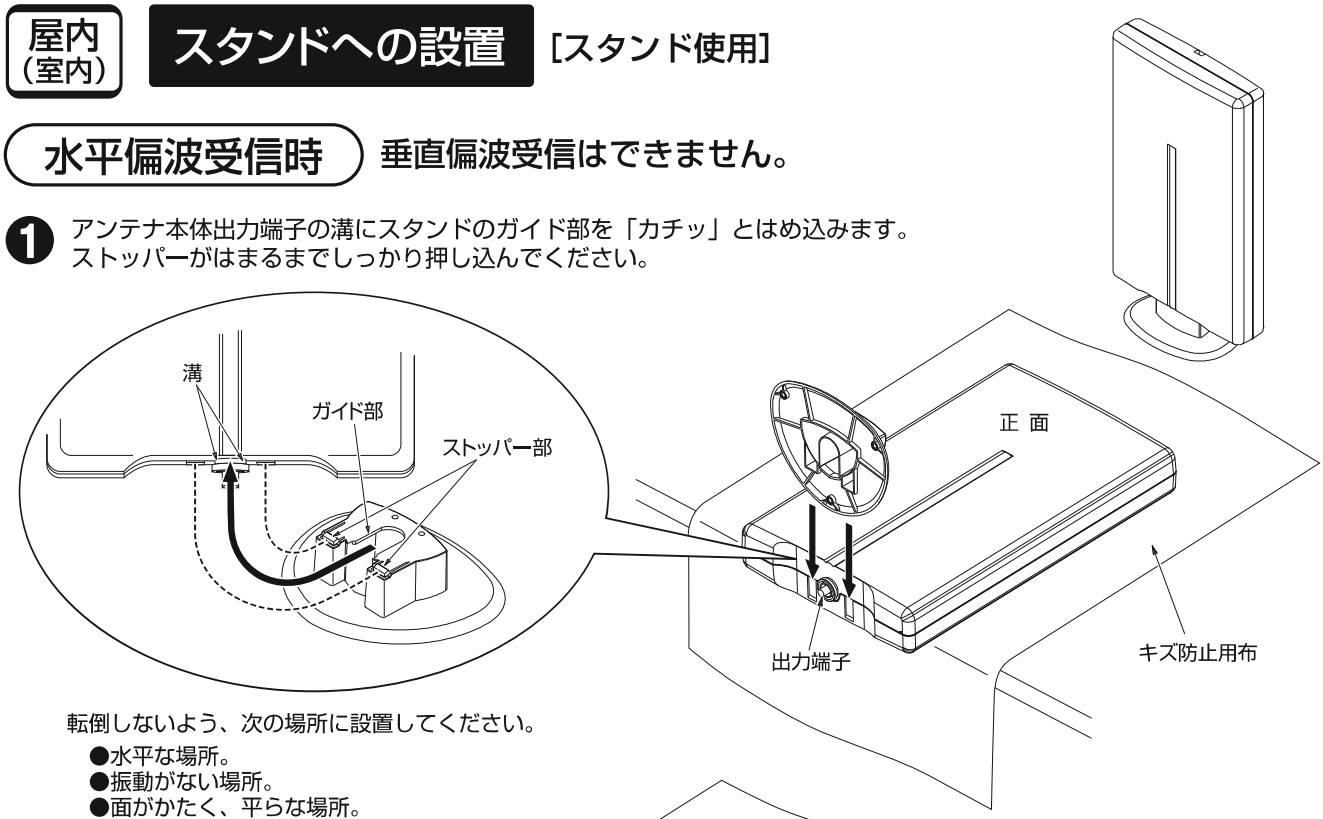
垂直偏波受信時

アンテナ取付金具（別売品）を使用して、5ページの 垂直偏波受信時 と同様に取り付けてください。

屋内（室内） スタンドへの設置 [スタンド使用]

水平偏波受信時 垂直偏波受信はできません。

❶ アンテナ本体出力端子の溝にスタンドのガイド部を「カチッ」とはめ込みます。
ストッパーがはまるまでしっかり押し込んでください。

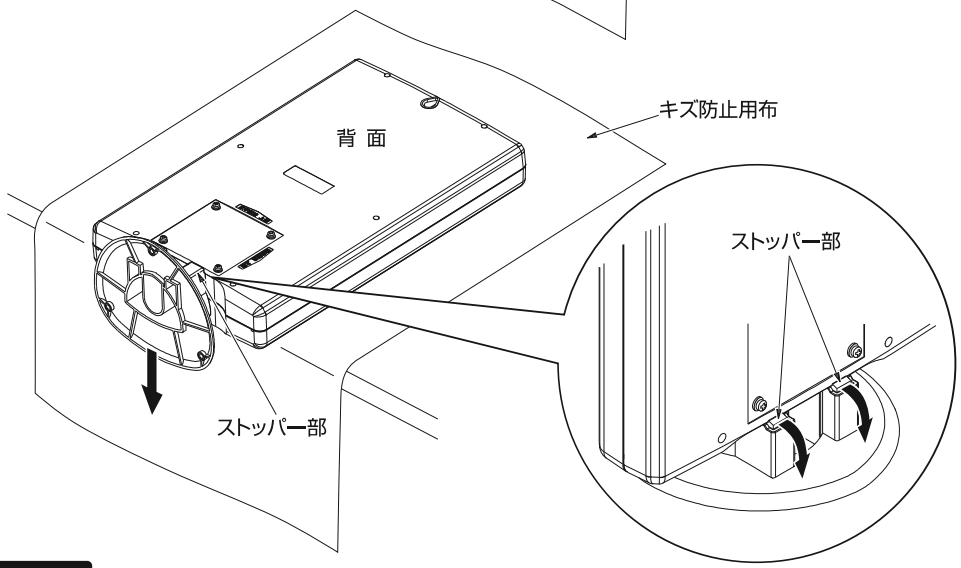


転倒しないよう、次の場所に設置してください。

- ●水平な場所。
- ●振動がない場所。
- ●面がかたく、平らな場所。

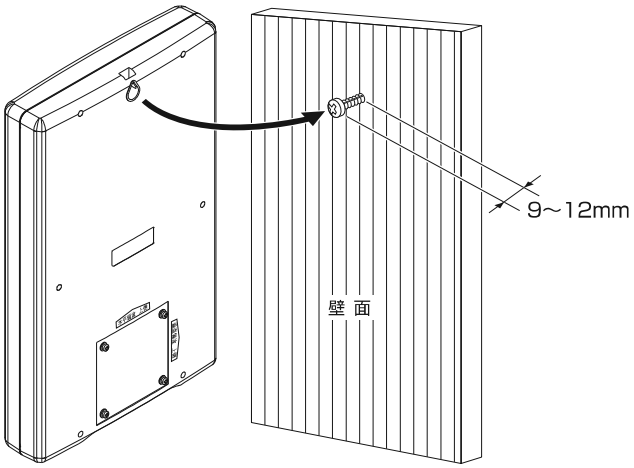
❷ スタンドのはずし方

アンテナ本体正面を下向きに机などに置き、スタンドのストッパーをアンテナと逆に押し広げながら下に引っ張ってはずしてください。



屋内（室内） 壁面への設置 [木ねじ（市販品：ねじ頭φ4.5mm以上）使用]

水平偏波受信時 垂直偏波受信はできません。



壁面の表面から9～12mm出るように木ねじ（市販品）をねじ込んでください。
本体上部の⌂部に引っ掛けて固定します。

室内設置時のみご使用ください。
屋外に使用しますと落下のおそれがあります。

ポイント

壁面強度の十分あるところに取り付けてください。

壁面に取り付ける場合、専門業者などにご相談ください。

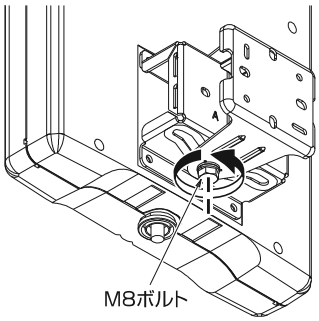
木ねじは壁面の材質に適したねじ類をご使用ください。
詳しくは専門業者などにご相談ください。

石膏ボードや薄い板厚の壁には設置できません。

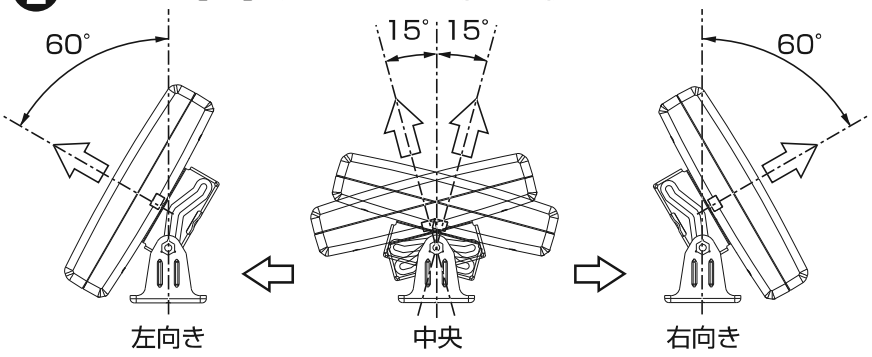
アンテナの方向調整

屋外　角柱・鋼管柱・壁面・ベランダへの設置

❶ M8ボルトをゆるめます。



❷ アンテナを〜穴に添って左右に動かし、旋回させます。

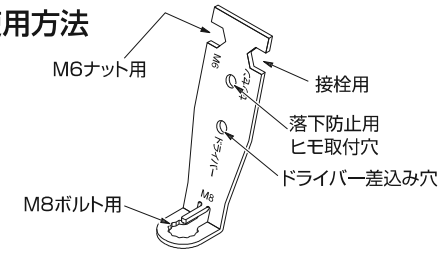


❸ アンテナ方向を決めたら、指定のトルクで締め付けてください。

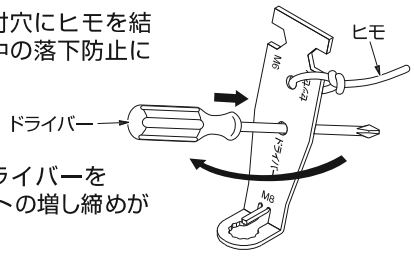
●ボルトの締付トルク

M8	6.9N・m（70kgf・cm）

●スパナ使用方法



落下防止用ヒモ取付穴にヒモを結び付ければ、作業中の落下防止になります。

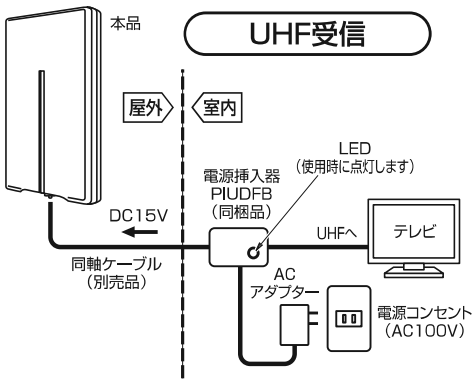


ドライバー穴にドライバーを差込めば、M8ボルトの増し締めが容易にできます。

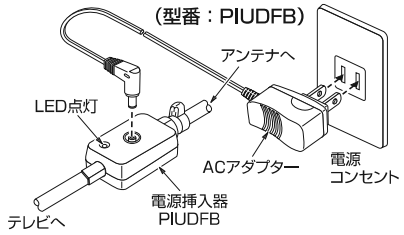
使 用 例〔UDF85B〕

●電源挿入器、ACアダプターは屋内用です。屋外では使用できません。
●電源挿入器、ACアダプターは本品専用です。他の機器には使用できません。
●アンテナから電源挿入器まで低損失ケーブル（S5CFB）で100mが限界です。

UHF受信

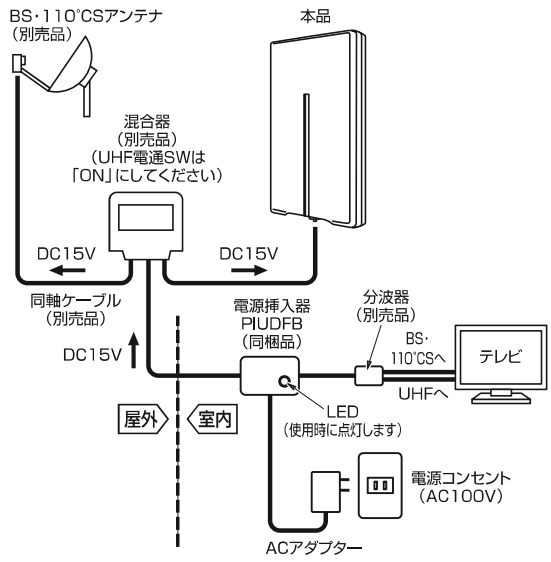


●電源挿入器とACアダプター、コンセントとの接続



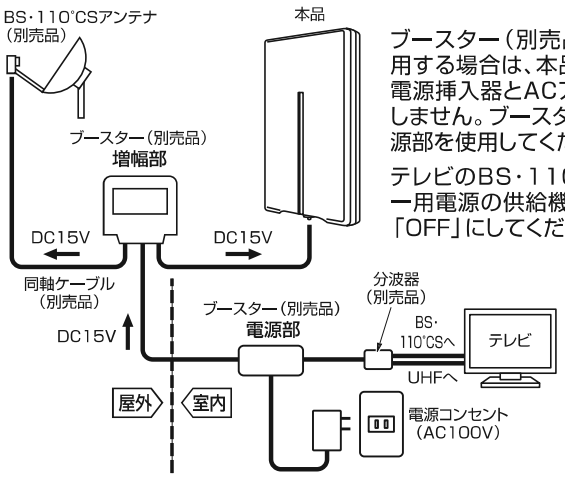
UHF/BS・110°CS受信

混合器（別売品）を接続して使用する例



UHF/BS・110°CS受信

ブースター（別売品）を接続して使用する例



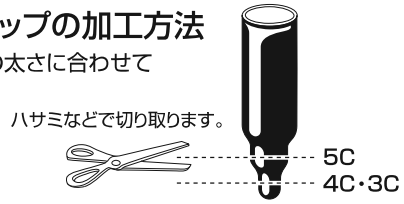
ブースター（別売品）を接続して使用する場合は、本品に同梱している電源挿入器とACアダプターは使用しません。ブースター（別売品）の電源部を使用してください。

テレビのBS・110°CSコンバーター用電源の供給機能は「切」または「OFF」にしてください。

ケーブルのつなぎかた

●防水キャップの加工方法

同軸ケーブルの太さに合わせて
カットします。



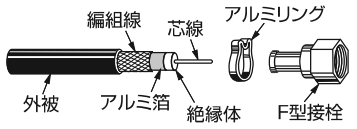
●ケーブルの加工方法（5CFB）

●付属のF型接栓は5Cケーブル用です。
4Cケーブル、3Cケーブルの場合は、別売品の4C用F型接栓、3C用F型接栓をご使用ください。

◆用意するもの

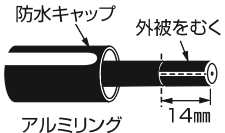
カッターまたはナイフ、ハサミまたはニッパー、ペンチ。

■各部の名称

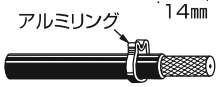


防水キャップは必ず先に同軸ケーブルに通してください。

❶ カッター、ナイフなどで点線の部分をカットします。（深さ1㎜程度）



❷ 外被をむき、アルミリングを通しておきます。

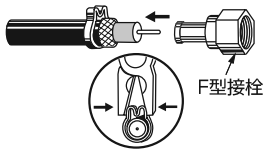


❸ 外被から2㎜程度はなして編組線をていねいに切り落としてください。

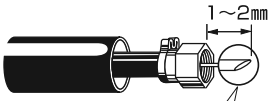
❹ 編組線をめくりあげます。

❺ 編組線から3㎜はなして絶縁体とアルミ箔を同時に切り、抜きとります。

❻ F型接栓をアルミ箔と編組線の間に挿入し、アルミリングをペンチなどでつまんでしっかりつぶしてください。



❼ 芯線の先端は1～2㎜出し、斜めにカットしてください。
芯線が長いと接続端子を破損させる場合があります。



芯線は斜めにカットすると挿入しやすい

ポイント

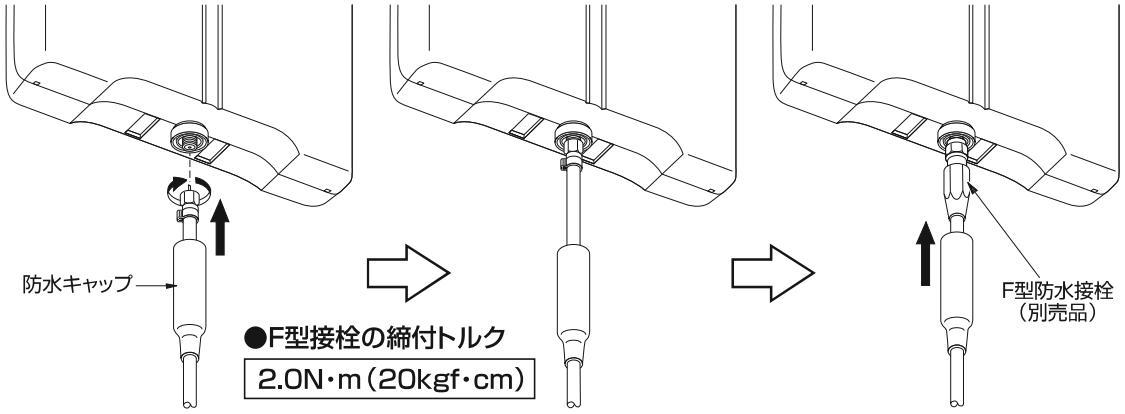
●芯線に付着物がないか確認し、付着物がある場合には、きれいにとってください。

●芯線の外径が1.5mm以下の同軸ケーブルをご使用ください。
外径が1.5mmより太い場合は、ピン付接栓をご使用ください。
（※同軸ケーブルを取り換える場合は、以前使用していた同軸ケーブルと芯線の外径が同じ同軸ケーブルをご使用ください。）

●同軸ケーブルの接続方法

屋外

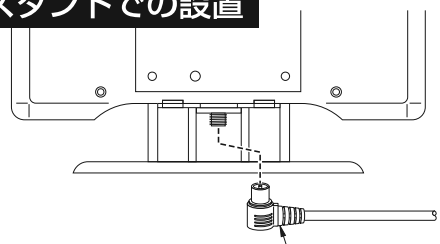
同軸ケーブルを出力端子に接続し、指定の締付トルクで締め付けます。締め付け後、防水キャップを奥に突き当たるまで、しっかり挿入して完了です。また、塩害地、雨の多い地域では、雨水の浸入を防ぎ、性能を維持するため、同軸ケーブルの加工には別売品のF型防水接栓を使用することをおすすめします。



●F型接栓の締付トルク
2.0N・m（20kgf・cm）

屋内（室内）

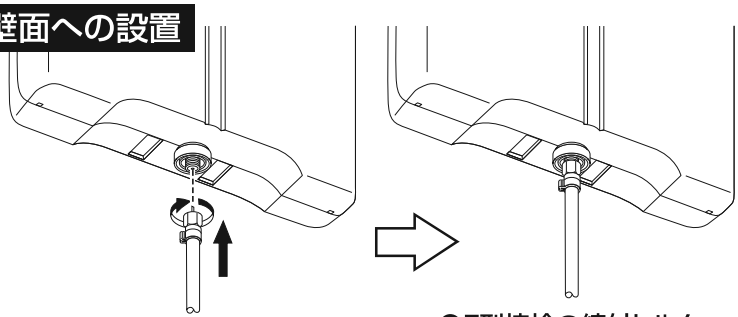
スタンドでの設置



アンテナに接続するケーブルは、L型プッシュプラグかL型接栓タイプをご使用ください。

L型プッシュプラグ
または
L型接栓タイプ
（別売品）

壁面への設置



同軸ケーブルを出力端子に接続し、指定の締付トルクで締め付けます。

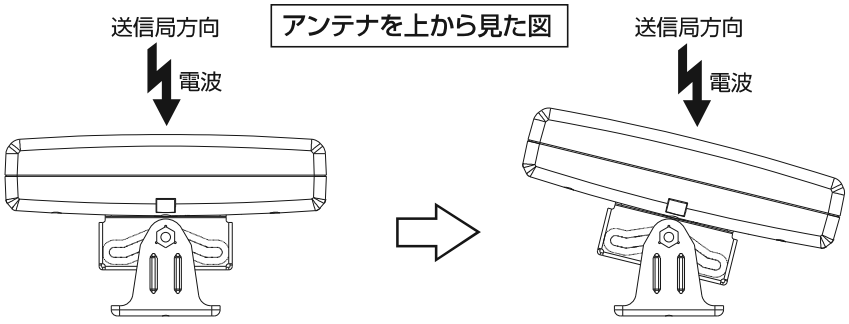
●F型接栓の締付トルク
2.0N・m（20kgf・cm）

使用上の注意

●本品は、極めて電波が弱い地域や建物により遮蔽された場所など電波状態が悪い地域では、ブロックノイズが発生したり、良好に受信できない場合があります。

●屋内設置の際は、電波の状況が不安定なため、良好な受信ができる場所を選んで設置してください。

●電波が強すぎるとアンテナが過入力となり、受信不良になることがあります。その場合はアンテナの方向を送信局からずらし、受信レベルを下げてください。



電波が強すぎて受信不良　　送信局方向からずらす

●デジタルテレビなどの "アンテナレベル" の数値は、アンテナ設置方向を確認する際の目安値です。電波の強さを表す値ではないため、本品を使用しても大きくなるとは限りません。

●ブースターを内蔵しているアンテナは、電源供給が必要です。必ず同梱の電源挿入器とACアダプターを接続してください。〔UDF85Bのみ〕

（キリトリ線）

保　証　書

型名	**UDF85，UDF85B**
お客様 お名前	
お客様 ご住所 電話番号　　（　　）	
お買上げ日 年　月　日	取扱販売店名・住所・電話番号
保証期間（お買上げ日より） 本体１年 （但し消耗品は除く）	

この保証書は、本書記載内容で無料修理をおこなうことをお約束するものです。なお、お客様窓口は弊社ホームページをご覧ください。

〈無料修理規定〉

1．取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
　①無料修理をご依頼される場合は、商品に本書を添えてお買い上げの販売店にお申し付けください。
　②修理対象品を直接弊社まで送付された場合の送料はお客様負担とさせていただきます。また、出張修理をおこなった場合、出張料はお客様負担とさせていただきます。

2．保証期間内でも次の場合には有料修理とさせていただきます。
　①使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
　②お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷。
　③火災、爆発事故、突風、豪雨、落雷、地震、噴火、水害、津波など天変地異または戦争、暴動など破壊行為による故障および損傷。
　④海岸付近、温泉地などの地域における公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）など腐食性の空気環境に起因する故障および損傷。
　⑤カラス、ねずみ、昆虫などの動物の行為に起因する故障および損傷。
　⑥異常電圧、電気の供給トラブルなどに起因する故障および損傷。
　⑦用途以外で使用した場合の故障および損傷。
　⑧塗装の色あせなどの経年変化または使用に伴う摩擦などにより生じる外観上の現象。
　⑨消耗部品の消耗に起因する故障および損傷。
　⑩日本国以外で使用された場合の故障および損傷。
　⑪本書のご提示がない場合。
　⑫本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。

3．ご贈答品などで本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合は、お客様窓口にご連絡ください。

4．本書は日本国内においてのみ有効です。
（This Warranty is valid only in Japan）

5．本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

修理メモ

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお客様窓口にお問い合わせください。

※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間についてはお客様窓口にお問い合わせください。

お客様窓口　**0570-091039**　ご利用時間 9:00～12:00 13:00～17:30（土･日祝祭日･弊社休業日を除く）

ナビダイヤルが利用できない場合は ☎(03)3893-5243

日本アンテナ株式会社

本社/〒116-8561 東京都荒川区西尾久7-49-8

ホームページアドレス https://www.nippon-antenna.co.jp

※製品改良のため、仕様、外観の一部を予告なく変更することがあります。
7124039　2020年3月